

焼 き 板

会場	炊事場等	一人あたり費用	㊦ 250円(大1個、小1個) ㊦ 200円(小2個)
人数	120人以内 (1班6～8人)	講師料	無 し
時間	2時間程度	利用団体が用意するもの	軍手(綿製)・マスク・古布

1 準 備	(1) 服装を整え、着席します。
	(2) 講師の紹介、講師あいさつをします。
	(3) 必要な用具、材料。 ※ 講師の指示に従い、準備します。 焼き板用の板、火ばさみ、薪(1束)、焚き付け用の木、たわし、きり、ペンチ、ヒートンボスカ等のペン、紐、マッチ、新聞紙、(古布)
	(4) 焼き板用の板を選びます。(大1個、小1個)
2 作り方	(1) 薪で火を起こします。
	(2) 火ばさみで板を持ち、裏表を均一に焼きます。 (3～4分程度) ※表面を焦がすだけだと、板の形を生かすことができます。しっかりと焼くと角が取れ、丸みのある木の模様が浮き出た焼き板を作ることができます。
	(3) たわしで木目に沿って、丁寧にこすり煤(すす)を落とします。
	(4) 光沢が出るまで、布でよく磨きます。※木目が浮き出てきます。
3 指導講評	(5) 絵つけをします。
	(6) ヒートン、紐をつけます。
	(7) よく乾かして、完成です。
	<留意事項> ・引率者は講師の補助を行います。 ・火を扱うので、板を焼く場合は軍手をつける。また、煤が多く出るのでマスクをつけるとよいです。 ・焼き板を持ち帰った後、ニスを塗ると長持ちする旨を伝えます。
4 後片付け	(1) 講師の指示により、炭や道具等を片付けきれいにします。
	(2) 使った用具を、もとあった場所に戻します。
	(3) 講師にお礼を述べます。

